

Title	ヤミ族使用の船
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1932
Jtitle	史学 Vol.11, No.3 (1932. 10) ,p.160(488)- 160(488)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19321000-0160

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

一、修身要録

一、古今詩歌集

一、移封記(安永二年)

一、君平筆書トリアツメ、(扉ニ蒲生氏累系アリ)

一、徒然草 甲乙二冊

一、李嬌雜詠

一、今書 版本(下野蒲生秀實著、出羽筒井明俊校)

一、孟子

一、職官志 版本(秀實校)

一、山陵志 九志二ノ一 版本(秀實校)

一、山陵志原稿 (君平自筆) 一卷

一、ハジメノ部分ハ八行詰小形野紙

一、諸曲集(君平自筆)

一、山陵繪圖 着色四枚一帖

一、山陵志答辯書 (木版刷)

一、(奥書) 文化五年冬十一月廿四日浪人蒲生伊三郎

一、職官志彫刻の事 (木版刷)

一、十一月十四日付 蒲生伊三郎

一、鈴木先生座前

一、山陵志の事依頼 (木版刷)

一、十一月廿八日付 岡井仁右衛門充書狀

一、矢立(菊紋章付) 墨壺ニ墨肉アリ

一、硯

一、合羽 身丈三尺、身幅一尺六寸五分
一、裁着 襟下三尺五寸
一、笠 徑一尺九寸六分五厘 ソリ一尺一寸

以上蒲生家の好意を謝して辭去、清住町なる桂林寺に至り、蒲生君平の墓に詣づ。墓碑面に、文山義章居士とあり、側面には、贈正四位修靜院殿文山義章大居士とあり。尙ほ、足利銀行新石町支店玄關脇に、蒲生君平誕生之地を表はす標石あり、傳により建てて以て紀念と爲す由。

豫定に於ては更に一向寺の國寶阿彌陀像拜觀の筈なりしも、時刻既に夕暮を告げたるを以て、遺憾ながら割愛し、直ちに停車場に向ひ、午後六時廿三分發列車に投じ、午後八時十分上野驛着歸京、即時解散せり。(森貞成記)

ヤミ族使用の船

檳智雄教授の好意により、臺灣紅頭嶼居住ヤミ族使用の小船が史學會に寄贈された。高雄在住柏尾具包氏より山中湖に浮べて學生の使用に供するため送附されたものにて槓氏は、その重要な土俗學的資料なるを認めて今回本塾に轉送し、本會は、之を本館三階新設陳列棚の上に安置して、大切に保管することとなつた。船の長さ十三尺四寸、幅二尺六寸五分、船腹の高さ一尺五寸、船首及び船尾の高さ四尺二寸、二本の櫂(長さ七尺)、あかとり、其他の備品を備ふ。船腹には黒、白、朱の三尺にて裝飾を施し(白色及び朱色の塗料は既に剝落す)、人體、圓形(太陽の象徴なりと云はる)三角等の原始的の模様を附す。之等の紋様太平洋上遠くニュー・ギニア邊まで分布するものにて太平洋文化史上極めて興味がある。船は組立式にて船體各部の用材を異にし、頗る進歩せるもの、ヤミ族の祖先は、恐らくかくの如き船にて遠くフィリッピンより移住し來れるものであらう。